

京都工芸繊維大学

午前 7 時 30 分に生徒 33 名とともに京都工芸繊維大学へ向かいました。到着後、学長補佐の高畑 哲先生に講義棟にてお話を伺いました。京都府の 3 つの国立大学（京都大学、京都教育大学、京都工芸繊維大学）の中で、京都工芸繊維大学は工学に特化した大学であり、自然界の現象や解明された理論をもとに、それを応用し、社会や人間に役立つモノづくりを基盤としています。歴史を紐解くと、蚕を研究する京都産業講習所と新しいモノづくり、デザイン教育を主とする京都高等工芸学校の 2 つを 1949 年に京都工芸繊維大学として発足しました。感性豊かな国際的工科大学を目指し、英語教育にも力を入れています。学部卒大学院進学率は 75% を超え、就職力ランキングでは関西で 4 番目にあたる大学です。

お話の後は、美術工芸資料館を拝観しました。日本の国立大学の中に美術館を所有する大学は 2 つ（東京芸術大学、京都工芸繊維大学）しかなく、その資料館の中には当時の学生の作品を含め、モノづくりのために展示されたポスターや、ティファニーのガラス等の作品が展示されていました。生徒は思い思いにその作品を観覧し、その後、資料館の前、そして比叡山をバックに集合写真を撮り、帰路につきました。

